

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年 3月 1日

事業所名 つむぐ住之江

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		基準以上のスペースを確保し、学習・活動スペースを確保しています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		基準に適した人数を配置しています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			今現在バリアフリーが必要な利用者がいないためしていないがその都度考える。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		コロナ禍という事もあり、1日に数回、清掃、除菌を行っています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎月職員会議を行い、会議ノートに記録し、全職員に周知し業務改善に努めています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		評価表を基に保護者等のご意見を把握し、サービスの質と職員の質の向上を図っています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公開しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今現在ははしていませんが、今後機会があれば外部評価を受け業務改善に努めていきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に職員研修を行っています。	今後は外部研修等にも積極的に参加していきたいと思えます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者様との面談を行い、相談・関係機関と連携を図り共有理解し利用者さんに合った支援計画を作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメントシートや評価キットの使用をしています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		保護者様・相談・関係機関と連携を図り共有理解し支援内容を設定している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		全職員に支援計画の把握してもらい、支援計画に沿った支援を行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		月間プログラムを常勤のチームで立案し、計画をしています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		プログラムは利用者さんに定着してもらう様に、固定にしている物も有りますが、動きやすいように毎月違うプログラムを作成しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		個別と集団双方の面から支援出来るように児童発達支援計画を作成しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		個別のスケジュール、課題の確認、役割分担、共通理解を朝礼で行っています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後には毎日終礼を行い、利用者さんの気付いた点などを話、今後の支援に役立てています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		当日の支援の記録はその日に記録し、職員で共有し支援の検証・改善を行っています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		6か月以内に1回以上モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しています。	
関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		会議には児童発達支援管理責任者が参加し、会議内容を全職員に報告しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○		現在はしていませんが、今後機会があれば連携していきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		現在医療的ケアが必要な子どもがいません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		現在医療的ケアが必要な子どもがいません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		移行支援は対象者がいないため行っていませんが、後は支援内容の情報共有と相互理解を図ります。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		児童発達支援事業所には積極的に連絡おとり、助言を受けています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		施設外活動では、地域の公園などに外出したりして地域との交流を図る機会を取り入れています。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		コロナ禍の為参加は出来ていませんが、コロナが落ち着き機会があれば参加したいと思います。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時に口頭や連絡帳でお伝えし、保護者から家庭での様子や気になっている点等を伺っています。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		保護者様からの相談等を頂いた時は保護者様に支援を行っています。	今後は積極的に行っていきたいとおもいます。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		見学時に支援内容の説明をし、契約時には、重要事項・契約書・支援内容の説明をおこなっています。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
33	<p>児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている</p>	○		<p>保護者様に支援計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明を心掛け、同意を得ています。また内容の変更が有れば随時説明を行っています。</p>	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		電話・送迎時に口頭・連絡帳で、保護者様からの子育ての悩みをお聞きし、必要に応じて面談を行っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		現在はコロナ禍の為開催していませんが、今後開催を検討したいと思います。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談窓口(管理者)を設置し、相談や申し入れがあった場合迅速かつ適切に対応しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		SNS・ラインにて活動などを掲載しています。月に1回行事予定を発行しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報に関する書類は鍵付き書庫に保管し、職員に対しての指導は雇用契約時に指導しています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		児童・保護者に対して分かりやすい方法を考え正確に伝わるように努めています	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		コロナ禍の為地域住民の方を招待するイベント等は開催出来ていませんが、今後開催したいと思います。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各マニュアルを作成し、定期的に職員研修を行い周知しています。	保護者様への周知は今後行っていきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年2回の避難訓練を行っています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		事前に保護者様に聞き取りを行っています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	今の所医師の指示所はありませんが、契約時にアレルギーの有無を確認しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		いつでも記入出来るように書式と場所を工夫し、職員間で周知しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に職員に虐待についての研修を行っています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		現在、身体拘束は行っていませんが、今後やむを得ず身体拘束を行う場合は組織的に決定し子どもや保護者様に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載します	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。